

# 第19回 アドベンチャーキャンプ ゴあま

【期間】 7月29日(水)から  
8月1日(土)

『忍耐力』と『コミュニケーション能力』の育成をねらいとしたアドベンチャーキャンプが今年度も開催されました。台風12号の影響で期間を短縮し、いかだ作りをプログラムの中心として3泊4日での実施となりました。急な日程変更となりましたが、参加者41名(町内23名・町外18名)全員が倉田海岸に集まり、ガスや電気のない中でのカンパンプ生活が始まりました。

初日は開発センターでオリエンテーションを行い、キャンプのねらいやテントの設営の仕方について学びました。また、竹の箸を手作りしキャンプ生活の準備も進めました。はじめは緊張していた子どもたちも、ゲームやグループでの活動を通して、次第にリラックスしていく姿が見られました。

午後からは倉田海岸に移動してテント設営とかまど作り、火おこし体験を行いました。

2日目はいかだ作りです。今年も大人による『大人げないチーム』が参加し、子ども達と本気の勝負を繰り広げました。チームでいかだの設計図をかき、必要な材料を準備し、いかだを作ります。『6人以上が乗れること』を条件に、浮きを付ける位置や乗る場所を試行錯誤し、個性のないいかだが出来上がりました。完成した班から試乗を行い、改良を加えることで、どの班も安定して浮くことができ、いかだを作り上げることができました。

いかだレースを通してチームワークがさらに深まります(↓)



(↑)ゲームやグループ活動を通して和やかな雰囲気



(↑) 子供たちのアイデアあふれるお祭り料理

3日目はキャンプのメインであるいかだレースと倉田祭り(お祭り料理とキャンプファイヤー)です。

いかだレースは、昨年までとコースを大幅に変更して行われました。みんなで声を出し合い、大人げないチームの大人げない妨害にも負けず、全ての班が無事にゴールできました。これまでの料理作りやいかだ作りを通して、子供たち同士の距離がぐつと近づいた日となりました。

夕食のお祭り料理(子どもたちが考えた料理を作り、バイキング形式で食べる)には、子供たちの考えたユニークな料理が登場しました。火おこしから含め、準備に2時間近くかかった料理も、どの班も大人気で30分ほどで完食となりました。

キャンプファイヤーでは、みんなで火を囲み、各班の出し物を楽しみました。

最終日、閉校式では参加者全員に修了証が授与されました。そして、今年度で5年連続の参加となる海士中学校3年生の飯古愛美さんには皆勤賞と記念品が贈呈されました。

各班の代表による感想発表では、「トイレがくさくて嫌だった」「いかなかなか進まなかったけど、最後まで声を出してがんばることができた」「ひとりできないことはみんなで協力したらできることを学んだ」など、キャンプで学んだこと感じたことを中心に堂々と発表する姿が見られました。

参加した子どもたちは、3泊4日という短期間でも驚くほどお互いの距離を縮めることができました。また、大人が心配している以上にたくましく、大自然の中で、覚悟を決めて生活することができました。辛いことがあっても生き生きと活動する子どもたちの姿が忘れられません。

子供たちには、その力をこれからの生活の中で『おんもさんも』發揮して欲しいと思います。スタッフ一同応援しています。

(派遣社会教育主事

藤野 幹雄)

# 教育だより 【海士町教育委員会】

## 第5回ふるまい通学合宿

ふるまい通学合宿は、集団生活や地域の方との関わりを通して、あいさつやマナーなどを身につけることをねらいとした取り組みです。

町内の小学校4年生が、日常生活ではかかせないご飯作りやもらい湯を、地域の方にご協力いただきながら体験します。今年で5回目となる合宿の様子をお伝えします。

### 【7月2日（木）】

学校からの下校は開発センターへ。少し緊張した様子で両校の子供たちが到着しました。

開校式やオリエンテーションを終え、早速夕食作りに取り掛かりました。初日のメインはハンバーグ作りです。玉ねぎを切つて涙したり、慣れない作業に戸惑う姿も見られましたが、美味しい夕食を作ることができました。

その後、子どもたちはもらい湯へ出かけました。今年は中里と北分を中心にして5軒の方が協力してくださいました。あいさつもきちんとし、緊張しながらも、よい交流ができたようです。

初日の最後は星空観察です。最初は雲が多く室内での学習となりましたが、後半は晴れ間から金星や木星、北斗七星を観察することができました。

毎年梅雨の時期に重なるため、星空観察ができたのは今回が初めてでした。望遠鏡をのぞき込んで大はしゃぎする子供たちの姿が印象的でした。

### 【7月3日（金）】

この日は朝食作りからスタートしました。子供たちは昨日の食事作りの反省を生かして、準備を進めることができました。その後、全員元気に登校しました。



みんなで協力して夕食作り

学校から帰ると、家族やお世話になった方たちを招待する『交流夕食会』の準備に取り掛かりました。3回目の食事準備ということもあって、役割分担をして作業するなど、さらに手際よく準備を進めることができました。

交流夕食会では、家族や、もらい湯で協力していただいた方達と楽しい時間を過ごすことができました。

### 【7月4日（土）】

早朝から西方寺でプチ修行を行いました。住職の吉村さんから「感謝」についてのお話や心を落ちつける方法を教えていただきました。

そして最後の朝食作りや、利用した開発センターの大掃除も協力して行い、けがや病気もなく閉校式を迎えることができました。閉校式では、通学合宿の感想を全員が発表しました。その一部を紹介します。

・家では自由がふつうだったけど、自由に何もできないことが多かったです。  
・食事づくりをして、できることが増えたので、家の手伝いをしていす。

参加した子どもたちの感想を見ると、あいさつや、自分のことは自分でするということを意識して生活することができた、という記述が多く見られました。また、家に帰って早速お手伝いをした子供もいたようです、『ふるまい』の向上が感じられました。

最後になりましたが、今年も食事作りやお風呂、登下校時の子供たちの見守りと、多くの方にお世話になりました。ありがとうございます。今後とも海士の子供たちの健やかな成長のためにご協力をよろしくお願ひいたします。

『海士の宝』である子どもたちをみんなで育てていきましょう！  
(派遣社会教育主事 藤野幹雄)

### 「防災講座」

みんなでつくる あんしん  
あんぜん・あまちょう

■日時：平成27年9月23日(水)

10時～15時

■場所：隠岐開発総合センター

1階研修室

講師をお招きし、海士町の地図を使つての災害シミュレーションや、避難所運営などを学びます。

ぜひご参加ください！



【写真:今年のアドベンチャーキャンプで子どもたちと行なった光のデザイン】

### 地区オリジナルのユニフォームがぞくぞくと!

集落支援員が地区活動をしていて、このごろ多い依頼がデザインに関する事です。

一言でデザインと言ってもいろいろありますが、地域の方どうしの関わりが増えてくると「みんなで〇〇してみよう」とか「〇〇があつたら良いね」などの意見が出て来ます。

『新しい活動の案が出てくる』いいものをつくりたい。デザインにこだわりたい。というふうに相談がきます。お話をいただいたとき、私たちは自分たちの好みでデザインするのではなく、地域の方の望むものを創りたい!それが集落支援員の仕事だと思っています。出来の良し悪しだけではなく、それまでの道筋を大切にして、地域の人たちとつしよに創ることにごこだわっています。

今回は、地域の方々と作ったユニフォームを紹介します。どの地区もおそろいのユニフォームができ、団結力がギュッと強くなっているのを感じます。

#### 【平成24年度制作 北分地区】

北分イエロ〜というシンボリックな言葉も生まれました。広報紙チームと作りしました。



#### 【平成26年度制作 東地区】

ヒガシマル醤油みたいと言われますが、区民の投票で決まりました! 色は金光寺グリーン。



#### 【平成27年度制作 崎地区】

だんじり復活から壮青年会の活動が活発となり、若者たちの手でつくられました。崎パープル。



### 好評! スイーツの日

6月からはじまったあまマーレのスイーツの日。毎月第3日曜日をスイーツの日として6月と7月の2回開催しました。このスイーツは海士町内のケーキやパンの作り手さんに依頼してあまマーレに置いてあります。6月はケーキを約100個用意しましたが午後3時にはなくなりました。また、7月はパンを中心に用意したところ大人気で、午前中ほとんどがなくなりました。今後毎月第3日曜日のスイーツの日をお楽しみに! 作り手さんも募集中です!



#### あまマーレ

##### 利用者数

6月 484名 / 7月 638名

##### 開館情報

閉館日 木曜日

開館時間 10:00-17:00

※予約貸切は21:30まで3名様以上でご利用可能  
気軽にお問合せください  
電話:2-2525

日々の集落支援員の活動を、インターネットで発信!  
Facebookページ更新中!  
[www.facebook.com/ama14chiku](http://www.facebook.com/ama14chiku)

あまマーレのホームページができました!  
貸切予約やイベント情報はこちらから  
<http://ama-mare.com/>

